

## 【単元のポイント】

# 折れ線グラフ

4年生 算数 第2単元

### 学習指導要領（平成29年告示）の目標

#### 【D データの活用】 D(1) データの収集と分析

折れ線グラフの特徴とその用い方を理解すること。また、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目し、表や折れ線グラフに的確に表したり、読み取ったりすること。

### ◆ 評価の3観点における目標

#### 【知識・技能】

- 折れ線グラフの読み方を理解している
- 折れ線グラフのかき方を理解している
- 変化の様子を折れ線グラフに表すことができる

#### 【思考・判断・表現】

- 折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができる
- 2つの折れ線グラフを比較して違いを説明できる
- グラフの傾きから変化の大きさを判断できる

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

- 身の回りのデータを折れ線グラフで表そうとしている
- 変化の様子に 관심をもって観察している

## ◆ 指導上の留意点（学習指導要領解説より）

### 1. 折れ線グラフの特徴

- ・時間の経過に伴う変化を表すのに適している
- ・棒グラフとの違い：棒グラフは量の大小比較、折れ線グラフは変化の様子
- ・線の傾きが急なほど変化が大きいことを理解させる

### 2. 折れ線グラフの読み方

- ・横軸（時間など）と縦軸（数量）の意味を確認する
- ・目盛りの読み取り方を理解させる
- ・増加・減少・変化なしの読み取りができるようにする

### 3. 折れ線グラフのかき方

- ・表のデータを点で打ち、直線で結ぶ
- ・縦軸・横軸に単位と目盛りを正確に書く
- ・グラフのタイトルを書く習慣をつける

### 4. つまずきやすいポイント

- ・目盛りの読み誤り（特に1目盛りの大きさ）
- ・折れ線グラフと棒グラフの使い分け
- ・波線（省略記号）の意味の理解不足
- ・2つのグラフを比べるときの縦軸の目盛りの違い

## ◆ プリント作成時の配慮事項

1. 方眼紙の活用：グラフを書くスペースは方眼を用意する
2. 身近な題材：気温、体温、記録の変化など身近な例を使う
3. 読み取りと作図：両方の問題をバランスよく配置
4. 比較問題：2つのグラフを比較して特徴を述べる問題を含める
5. 目盛りの工夫：波線の使い方や目盛りの取り方を問う問題